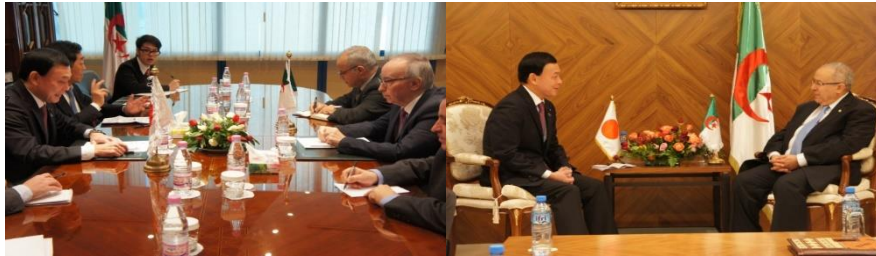


滝沢外務大臣政務官のアルジェリア訪問

12月24日(土)～25日(日)



12月24日から25日にかけて、滝沢外務大臣政務官がアルジェリアを訪問しました。25日には、ハッジ・ババ・アミ財務大臣及びラムタン・ラマムラ国務大臣兼外務・国際協力大臣とそれぞれ会談し、経済、政治等の二国間関係の強化や国際・地域情勢につき議論しました。

藤原大使の国連開発計画(UNDP)主催プロジェクト閉会式出席

12月18日(日)



12月18日、藤原大使は、アルジェにて開催された、国連開発計画(UNDP)主催の「メデア県及びアドラル県における若年層のエンパワーメント及び雇用」に関するプロジェクトの閉会式に出席しました。同プロジェクトは、平成25年度日本からの資金協力により実施されたものです。

閉会式におけるスピーチでは、アルジェリア労働・雇用・社会保障省キアト次官及び国際労働事務局及びUNDPの代表者から日本政府の支援に対する謝意とともに、この成功例を他地域にも発展させていきたいと述べられました。藤原大使より、戦後の日本の経済発展の経

験を紹介しつつ、経済多角化を目指すアルジェリアにとり人材育成が重要性であり、日本はTICADVIの成果を踏まえこれからも同分野でアルジェリアを支援していきたい旨述べました。

第2回日・アルジェリア・ビジネススクラブの開催

12月13日(火)



12月13日、在アルジェリア日本国大使館において、第2回日・アルジェリア・ビジネススクラブの会合が開催されました。

第2回となる会合では、藤原駐アルジェリア日本国大使によるTICADVIの成果と日・アルジェリア経済協力に関するプレゼンテーションと、ルアヘジ財務省予測部長による新経済成長モデルに関するプレゼンテーションが行われ、参加者による活発な意見交換が行われました。会合終了後、藤原大使は、メキデシュ同ビジネススクラブ会長と共に、公邸にて記者会見を開催しました。

JICA漁業セミナーの開催

12月11日(日)



12月11日、藤原駐アルジェリア日本国大使は、アルジェリア農業・地方開発・漁業省が開催した漁業管理セミナーの開会式に参加しました。漁業管理セミナーは、七尾JICA漁業政策

アドバイザーが講師を務め、農業・地方開発・漁業省や関係機関の職員の総勢約40名が参加しました。

藤原大使は、スピーチの中で、日本とアルジェリアの経済協力は長い歴史があり、漁業分野では2006年には80トンの漁業訓練船、操業シミュレーターをアルジェ漁業養殖技術学院（現・国立高等漁業養殖学院（INSPA））に供与した他、JICAを通じて研修を実施しており、このセミナーを通じてアルジェリアの漁業政策の発展に寄与することを期待していると述べました。

平成28年天皇誕生日祝賀レセプションの開催

12月7日（水）



12月7日、藤原大使は、12月23日の陛下誕生日に先立ち、天皇誕生日祝賀レセプションを開催しました。同レセプションには、メスレム国民連帯・家族・女性大臣及びフェラウン郵便・情報通信技術大臣が政府代表として出席された他、ユースフィー大統領府顧問、政府関係者、各国大使館関係者、大学関係者、文化関係者、報道関係者、ビジネス関係者等多岐の分野から273名の方々に出席いただきました。

冒頭のスピーチにおいて、藤原大使から、安倍総理及び70以上の経済界トップが参加したTICADVIの成果を紹介した他、この1年の日本・アルジェリア関係の進展を振り返りつつ、今後、今年以上に要人往来を活発化させていく、経済では日・アルジェリア・ビジネスクラブで

の対話を増やし、インフラ開発や産業界における人材育成によりアルジェリアの経済多角化に貢献していく、文化交流では来年3月に映画上映会を実施する旨述べ、最後に東京オリンピックに向けスポーツや国民レベルでの交流が増えることを期待する旨述べました。

藤原駐アルジェリア日本国大使のアンナバ県及びゲルマ県出張

9月18日(日)～20日(火)



9月18日から20日にかけて、藤原駐アルジェリア日本国大使は、アンナバ県及びゲルマ県を訪問しました。18日、藤原大使はショルファ・アンナバ県知事と会談を行いました。



続いて19日、藤原大使はゲルマ県のベナモール社を訪問しました。



20日、藤原大使はアンナバ県にてバッジ・モクタール・アンナバ大学を訪問し、ハイアヘム学長等と意見交換を行いました。

日AU友好議員連盟のアルジェリア訪問

9月2日(金)～3日(土)



9月2日から3日にかけて、日AU友好議員連盟(田中和徳衆議院議員(自民党)、秋葉賢也衆議院議員(自民党)及び岡本三成衆議院議員(公明党))がアルジェリアを訪問しました。2日に、在留邦人企業関係者との意見交換会を行いました。3日には、これまで我が国が支援してきた国立高等海運大学校の視察、日アルジェリア友好協会との意見交換会を実施した他、ウルドゥ・ケリファ国民議会議長と会談し、二国間関係の強化につき議論しました。

ABE イニシアティブ研修生の本使訪問

8月23日(火)



8月23日、藤原駐アルジェリア日本国大使は、今夏に日本に留学する2名の ABE イニシアティブ研修生の表敬を受けました。会談中、藤原大使より、激励の言葉をかけるとともに、同留学生在が今後両国の経済・文化関係に貢献していくことを期待していると述べました。また留学生側からも、今回 ABE イニシアティブ研修生として日本に留学することを光栄に思う旨が述べられ、今後日・アルジェリアの二国間関係に貢献していきたいとの決意が表明されました。

日・アルジェリア・ビジネスクラブの発足

7月27日（水）



7月27日、在アルジェリア日本国大使館において、第1回日・アルジェリア・ビジネスクラブの会合が開催されました。同クラブは、当地日本企業及びアルジェリア企業関係者で構成され、日・アルジェリア二国間の経済関係の発展を目的として、アルジェリアの政治経済動向、その他日本企業の関心事項・課題について二国間の関係者で率直な意見交換を行うとともに、関係者間での交流を深める目的で設立されました。

第1回となる会合では、アルジェリアの対外直接投資の現況や、経済政策等についての意見交換が行われました。会合終了後は、藤原駐アルジェリア日本大使公邸において、カクテル形式にて参加者相互間のネットワーキング及び情報交換が行われました。

藤原大使の国連薬物・犯罪事務所 (UNODC) 主催セミナー出席

7月19日 (火)



7月19日、藤原駐アルジェリア大使は、アルジェにて、国連薬物・犯罪事務所 (UNODC) の主催する「国境を越えるテロ対策における国際司法共助の強化」に関するセミナーの開会式、及び閉会式に出席しました。

同セミナーは、平成27年度アルジェリアにおける対テロ司法能力強化計画 (UN連携／UNODC実施)」の枠組みで、日本からの援助により実施されたものです。

同セミナーは、19日～21日の3日間行われ、アルジェリア各地方検事、アルジェリア法務省、外務省関係者のほか、周辺諸国 (チュニジア、スペイン、フランス) 専門家、UNODC 関係者、AU 関係者等、約45名が参加し、国際テロに係る司法共助をいかに推進するかにつき報告・意見交換が行われました。

開会式におけるスピーチでは、アルジェリア外務省・法務省及びUNODCの代表者より日本政府の支援に対する謝意が述べられたほか、藤原大使より、今年、日本は G7 を主催し、「テロ及び暴力的過激主義に関する G7 行動計画」を採択し、2016年から2018年の3年間で、約2万人の人材育成を含む総額約60億ドルの支援を実施する旨表明するとともに、地域の平和と安定のために重要な役割を果たすアルジェリアとの間では、治安・テロ対策協議の枠組み等を活用し、テロ対策分野における協力を更に強化していきたい旨述べました。さらに、テロ対策は国際的な協力が不可欠であり、アルジェリア政府及び UNODC と、今後とも手をたずさえて、世界の繁栄、平和、安定のために貢献していきたい旨述べました。

また、21日の閉会式に藤原大使は出席し、参加者に対して修了証を授与しました。

平成28年度自衛隊記念日レセプション開催

7月12日 (火)





7月12日、藤原駐アルジェリア日本国大使は、自衛隊記念日レセプションを開催（自衛隊創設日は7月1日）しました。同レセプションには、ゼルーニ元副首相・元駐日アルジェリア大使をはじめ、議会関係者、大統領府、外務省及び国防省等の政府関係者、各国大使、駐在武官、大学関係者、文化関係者、報道関係者、ビジネス関係者等多岐な分野から175名の方々に出席いただきました。両国国歌演奏後、藤原大使はスピーチを行い、自衛隊の実績と本年のG7サミットやTICAD VI等日本外交の動きに言及しつつ、アルジェリアとの防衛分野における協力関係を発展させていきたいと述べました。

その他、本レセプションでは、日本企業製品の展示、日本観光コーナー及び日本紹介コーナーを設け、来場者に日本の魅力を紹介しました。

藤原駐アルジェリア日本国大使のルイバ社訪問

6月1日（水）





6月1日、藤原駐アルジェリア日本国大使は、アルジェリアの飲料水部門第1位であるルイバ社を訪問し、オトゥマニ社長の案内で同社工場を視察しました。

第48回アルジェ国際見本市の開催

5月29日(日)



5月29日、藤原駐アルジェリア日本国大使は、アルジェSAFEX国際展示場にて開催中の第49回国際見本市を視察しました。同見本市は5月28日より6月2日まで開催され、国内外から405社の企業が参加し、日本からは日本貿易振興機構(JETRO)の他、日本企業7社が参加しました。

藤原大使のベジャイア県出張

5月22日(日)～23日(月)



5月22日から23日にかけて、藤原大使はベジャイア県へ出張し、22日には、セビタル社ベジャイアコンプレックスを訪問しました。



続いて、ベジャイア県を訪れ、ジトゥニ・ベジャイア県知事と会談を行いました。





23日には、ベジャイア港湾局を訪問し、アショール港湾局長と会談し、その後同知事の案内でベジャイア港を視察しました。

ユースフィー大統領府顧問に対する旭日大綬章授与

5月10日(火)



5月10日、ユースフィー大統領府顧問が宮中における春の大叙勲等勲章親授式に出席し、安倍総理の臨席の下、天皇陛下から旭日大綬章を授与されました。ユースフィー大統領府顧問は、これまで長年にわたりアルジェリア外務大臣及びエネルギー・鉱業大臣として、日本・アルジェリア間の関係強化及び相互理解の促進に多大なる貢献をされました。ユースフィー大統領府顧問の旭日大綬章授与については、5月11日付のエル・ムジャイド紙、Echaab 紙に報じられた他、5月12日のカナル・アルジェリの記事で取り上げられました。

藤原大使のグール国土整備・観光・手工業大臣との会談

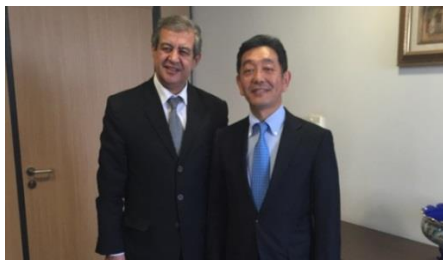
5月10日(火)



5月10日、藤原大使は国土整備・観光・手工業省を訪問し、グール国土整備・観光・手工業大臣と会談しました。右会談においては、本年3月の観光振興をテーマとした本使レターを基にして観光分野における二国間協力の強化について協議しました。

藤原大使のラービヒ新外務次官への表敬

5月9日(月)



5月9日、藤原大使は、ラービヒ新外務次官を表敬し、日・アルジェリア関係、日本の経済協力、TICADVI等多岐にわたる議題について協議しました。

藤原駐アルジェリア日本国大使の FOREM 訪問

4月12日(月)





4月12日、藤原駐アルジェリア日本国大使は、医療分野の人材育成及び児童に対する教育活動を行っているアルジェリアの NGO 団体である「アルジェリア医療促進・研究開発基金（FOREM）」を訪問し、ヒアティ代表と同団体の活動及び協力の可能性について意見交換を行いました。

藤原駐アルジェリア日本国大使のベシヤール県出張

3月26日～28日



3月26日から28日にかけて、藤原駐アルジェリア日本国大使は、ベシヤール県を訪問しました。27日、藤原大使は2007年に日本大使館が草の根・人間の安全保障無償資金協力の枠組で協力を行ったベシヤール孤児院を訪問しました。





続いて、ベシヤール商工会議所を訪問し、エル・ガジ・ベシヤール商工会議所会頭及びハマディ経営者フォーラム(FCE)ベシヤール支部代表と日・アルジェリアの経済交流について意見交換を行いました。



28日、藤原大使はアブデラティフ観光・若者交流・持続可能な開発協会(ATLED)会長の案内で、ベシヤールの西に位置するケナザの旧市街、コーラン学校、図書館、鉱物資源博物館、ベシヤールの南東部に位置するタリット等を視察しました。

第19回アルジェリアモーターショーの開催

3月17日(日)





3月17日、アルジェSAFEX国際展示場にて、第19回アルジェリアモーターショーが開催され、藤原大使が視察しました。同モーターショーは3月26日まで開催され、日本の自動車メーカーを含む30メーカーが出展しました。

草の根・人間の安全保障無償資金協力調印式の開催

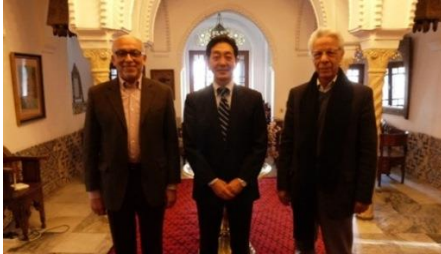
3月16日(水)



3月16日、在アルジェリア日本国大使館にて、草の根・人間の安全保障無償資金協力の調印式が開催されました。被供与団体であるガルダイヤ県のタゲミ(TAGEMI)は、日本国から供与された60,694ユーロで白内障患者用の手術用顕微鏡等の医療機器を購入します。同調印式に出席した藤原駐アルジェリア日本国大使は、人間の安全保障は我が国にとって優先分野であり、今後も同分野でアルジェリアに協力していきたいと述べ、またベンユセフ・タゲミ代表は、日本の協力に感謝しつつ、今後も南部の医療事情改善に貢献していくと述べました。

藤原大使のムールード・ハムルシュ元首相への表敬

3月6日(日)



3月6日、藤原大使はムールード・ハムルシュ元首相を表敬し、日・アルジェリア関係やアルジェリア政治経済情勢について協議しました。

平成28年度新年会の開催

1月25日(月)



1月25日(月)、大使公邸において、新年会が開催されました。その際、藤原大使より、大使館として、邦人の皆様の安全対策、日本企業支援に全力をあげていきたい、本年日本は国連安保理の非常任理事国となり、伊勢志摩サミット、TICAD VIが開催されるが、アルジェリアにおいて政治、経済改革が進展する中で、日アルジェリア間の政治対話や経済協力を一層進展させたいと述べました。

藤原大使のタマンラセット県出張

1月19日(火)～22日(金)





1月19日から22日にかけて、藤原大使はタマンラセット県へ出張し、シルミ・タマンラセット県知事やエル・アラウィ・タマンラセット商工会議所所長と会談したほか、タマンラセット大学において、エル・アラウィ同大学長と会談しました。また、タマンラセット市にある移民受入センターを視察し、ベンハビレス・アルジェリア赤新月社代表と会談しました。

藤原大使の国連薬物・犯罪事務所（UNODC）主催セミナー開会式出席

1月19日（火）



1月19日、藤原駐アルジェリア大使は、アルジェにて、国連薬物・犯罪事務所（UNODC）の主催する「外国人テロ戦闘員問題と関連するテロ事案の捜査・起訴」に関するセミナーの開会式に出席しました。

同セミナーは、平成25年度対アルジェリア・紛争予防・平和構築無償資金協力「テロ対策法制度強化計画（UN連携／UNODC実施）」の枠組みで、日本からの援助により実施されたものです。

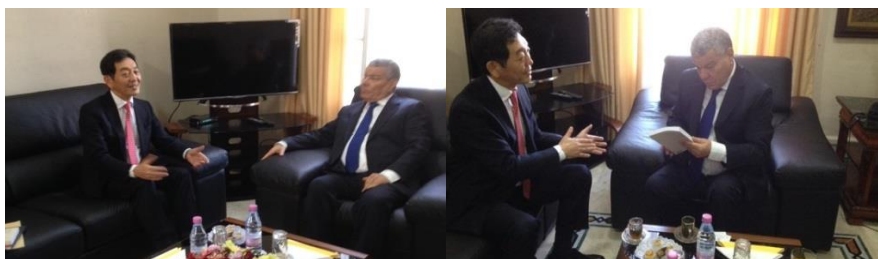
同セミナーは、19日～21日の3日間行われ、アルジェリア外務省、UNODC関係者のほか、アルジェリアの法務省、内務省、治安関係者等約35名が参加し、外国人テロ戦闘員の問題にいかに対処するかにつき報告・意見交換が行われました。

開会式におけるスピーチでは、アルジェリア外務省及びUNODCの代表者より日本政府の支援に対する謝意が述べられたほか、藤原大使より、日本政府は、平成27年度補正予算を通じてUNODCの「アルジェリアにおけるテロ対策司法能力強化計画」を支援することを決定した旨発表するとともに、地域の安定供給国としてアルジェリアが地域の平和と安定のために果たす役割を賞賛し、アルジェリアとの間では2013年に治安・テロ対策協議の枠組みを設置されており、テロ対策分野における協力を更に強化していきたい旨述べました。

最後に、藤原大使は、アルジェリアと日本の関係は、1958年のFLN極東事務所の東京開設以降、アルジェリア独立前から長い歴史を有しており、政治、経済、文化の各分野において多面的な関係が発展してきたが、これからは、防衛・安全保障分野においても両国の協力関係を一層発展させていくとともに、今後とも手をたずさえて、世界の繁栄、平和、安定のために貢献していきたいと発言しました。

藤原大使のサアダニ FLN 党首との会談

1月18日(月)



1月18日、藤原大使は国民解放戦線（FLN）本部を訪問し、サアダニ FLN 党首と二国間関係について意見交換を行いました。